

# 令和6年度 第1回糸島市環境審議会

日時：令和6年7月29日(月)14時～  
場所：糸島市役所 会議室 301号

## ◆出欠確認

### ◎委員氏名 (13人)

朝田 好春	井上 俊幸	加茂 周二	久場 隆広	古藤 宏泰	坂本 朱美	田口 靖三
仲西 利弘	平野 照実	松藤 公元	宮澤 篤	吉岡 愛一郎	吉田浩太郎	

### ◎事務局(生活環境部 環境政策課)

進藤 博文	八尋 孔兵	矢野 真司	岡 麻衣子	塔野 重治
-------	-------	-------	-------	-------

### ◎関係課

公共施設管理課	危機管理課	コミュニティ推進課	下水道課	農業振興課	水産林務課
---------	-------	-----------	------	-------	-------

## 1 開 会

## 2 生活環境部担当部長あいさつ

## 3 会長あいさつ

## 4 協議事項

令和5年度第2次糸島市環境基本計画の進捗状況について

## 5 その他

## 6 閉 会

## 糸島市環境審議会委員名簿

(50音順)

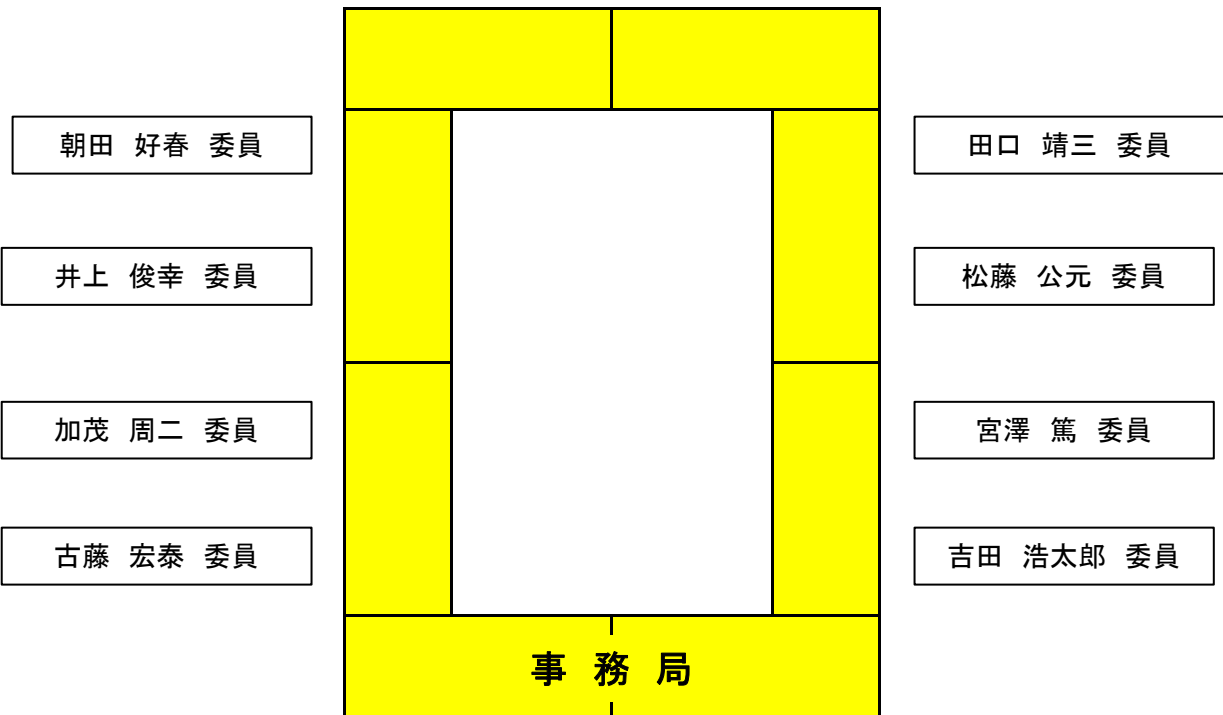
任期：令和4年12月20日  
～令和6年12月19日

番号	氏名	団体名等	備考
1	あさだ よしはる 朝田 好春		公募委員
2	いのうえ としゆき 井上 俊幸		公募委員
3	かも しゅうじ 加茂 周二	糸島市行政区長会	副会長 ※令和6年7月29日～
4	くば たかひろ 久場 隆広	九州大学 大学院工学研究院 環境社会部門	教授
5	ことう ひろやす 古藤 宏泰	深江の自然と環境を守る会	
6	さかもと あけみ 坂本 朱美	糸島市商工会	女性部長
7	たぐち せいぞう 田口 靖三	福岡県筑紫保健福祉環境事務所	環境長
8	なかにし としひろ 仲西 利弘	糸島漁業協同組合	代表理事組合長
9	ひらの てるみ 平野 照実	伊都国の森づくりの会	代表幹事
10	まつふじ きみもと 松藤 公元	福岡県広域森林組合	理事
11	みやざわ あつし 宮澤 篤	福岡県地球温暖化防止活動推進員	
12	よしおか あいichirou 吉岡 愛一郎	糸島市行政区長会	会長
13	よしだ こうたろう 吉田 浩太郎	糸島農業協同組合	営農企画課長 ※令和6年7月29日～

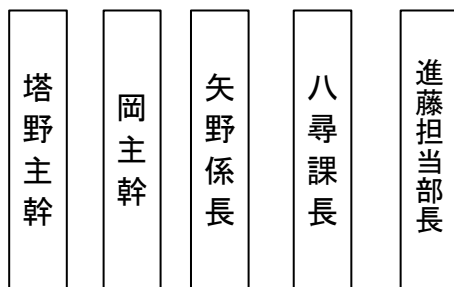
# 令和6年度 第1回糸島市環境審議会 席次表 (会議室301号)

久場隆広 会長

坂本朱美 副会長



傍聴席



関係課職員



出入口

## 第2次糸島市環境基本計画の進捗状況における評価方法について

## (1) 基準年度から目標年度まで増加・減少させる目標の場合

- 基準年度以降の実績増減量を、目標年度までの目標増減量で割って達成度を測定、標語を決定する。
- 年度ごとの増加幅または減少幅に対する評価は行わない。

## 【例① 基準年度0のものを毎年100増やし、目標年度に500とする目標】

	基準年度 R1	R3	R4	R5	R6	目標年度 R7
目標値	—	100	200	300	400	500
実績値	基準値0	30	160	280	550	440
達成率	—	6%	32%	56%	100%	88%
評価	—	E	D	C	A	A

↑ R7 目標に対する達成率、評価

## ＜達成率算定式＞

$$(\text{評価年度実績} - \text{R1 基準値}) \div (\text{R7 目標値} - \text{R1 基準値}) \times 100$$

$$\text{R4 達成率} = (160 - 0) \div (500 - 0) \times 100 \Rightarrow 32\% \cdots \text{D}$$

$$\text{R6 達成率} = (550 - 0) \div (500 - 0) \times 100 \Rightarrow 110\% \cdots \text{A}$$

※R6のように計算結果が100%を超える場合は、100%とします。

※R3からR4にかけて130増え、1年あたり100増やす目標を上回る成果(130%増)になっていますが「各年度の増加・減少幅」は評価しません。

## 【例② 基準年度100のものを毎年10減らし、目標年度に50とする目標】

	基準年度 R1	R3	R4	R5	R6	目標年度 R7
目標値	—	90	80	70	60	50
実績値	基準値100	95	90	110	80	70
達成率	—	10%	20%	0%	40%	60%
評価	—	E	D	E	C	B

↑ R7 目標に対する達成率、評価

## ＜達成率算定式＞

$$(\text{評価年度実績} - \text{R1 基準値}) \div (\text{R7 目標値} - \text{R1 基準値}) \times 100$$

$$\text{R4 達成率} = (90 - 100) \div (50 - 100) \times 100 \Rightarrow 20\% \cdots \text{D}$$

$$\text{R5 達成率} = (110 - 100) \div (50 - 100) \times 100 \Rightarrow -20\% \cdots \text{E}$$

$$\text{R7 達成率} = (70 - 100) \div (50 - 100) \times 100 \Rightarrow 60\% \cdots \text{B}$$

※R5のように計算結果が0以下になる場合は、0%とします。

## (2) 目標年度における「状態」を目標とする場合

- ・「〇〇事業を実施する」「〇〇以下」など、目標年度における状態を目標とする場合は、各年度における状態と目標年度の状態と比較し、評価する

## 【例③ これまで未実施だったものを「実施する」目標

	基準年度 R1	R3	R4	R5	R6	目標年度 R7
目標値	—	実施	実施	実施	実施	実施
実績値	基準値 未実施	未実施	実施	実施	未実施	未実施
達成率	—	0%	100%	100%	0%	0%
評価	—	F	A	A	F	F

↑ R7 目標に対する達成率、評価

&lt;達成率&gt;

実施していれば 100%・A 実施していなければ 0%・F

## 【例④ 毎年度基準値以下とする目標】

	基準年度 R1	R3	R4	R5	R6	目標年度 R7
目標値	—	2.0 以下	2.0 以下	2.0 以下	2.0 以下	2.0 以下
実績値	—	3.6	2.5	1.9	1.7	2.0
達成率	—	0%	0%	100%	100%	100%
評価	—	E	E	A	A	A

↑ R7 目標に対する達成率、評価

&lt;達成率&gt;

2.0 以下であれば 100%・A 2.0 を超えていけば 0%・E

①・②の考え方は、糸島市長期総合計画による評価と同じ考え方です。環境基本計画の目標の中には、長期総合計画と同じ目標を設定しているものがあり、評価が計画ごとに異なると矛盾が生じますので、この方法による改定にしたいと考えています。

令和5年度

第2次糸島市環境基本計画  
進捗状況

## ○第2次糸島市環境基本計画の進捗状況集計表（令和5年度実績）

令和5年度の計画の進捗状況について、27の計画指標ごとに点検・評価を行いました。

### ■評価基準

- A 達成率80%以上
- B 達成率60%以上80%未満
- C 達成率40%以上60%未満
- D 達成率20%以上40%未満
- E 達成率20%未満
- F 未着手（評価不可）

#### ●目標の達成率

$$\text{達成率} = \frac{\sqrt{(R5\text{年度実績} - \text{基準値}(R1\text{年度}))^2}}{\sqrt{(\text{目標値}(R7\text{年度}) - \text{基準値}(R1\text{年度}))^2}} \times 100$$

※ただし、目標年度を上回る実績があった場合、達成率は100%、  
基準年度を下回る実績だった場合、達成率は0%とする。

#### ●実施の有無等が基準となる目標の達成率

実施有⇒達成率100% 実施無⇒達成率0%

※目標が「開催有無」のような場合に限り、「有」は達成率100%、「無」は達成率0%として扱います。

### 【目標ごとの評価集計】

	計画 指標 数	A	B	C	D	E	F
1. 地球環境にやさしい生活を実践する	6	4	1	0	0	1	0
2. 豊かな自然を守り育てる	9	6	0	1	0	2	0
3. 快適で住みやすい生活環境をつくる	9	6	0	0	0	3	0
4. 協働で環境づくりに取り組む	3	1	0	0	1	1	0
合 計	27	17	1	1	1	7	0
	100%	63.0%	3.7%	3.7%	3.7%	25.9%	0.0%

# 目標別の計画指標一覧

## ■目標1:地球にやさしい生活を実践する

(第2次糸島市地球温暖化対策実行計画 区域施策編・事務事業編)

### 1-1 再生可能エネルギーの普及推進

計画指標	所管課
1 住宅用太陽光発電買取件数	環境政策課
2 公共施設へのクリーンエネルギー及び省エネ設備導入施設数	公共施設管理課 環境政策課

### 1-2 低炭素型都市基盤の整備及び保全

計画指標	所管課
1 新規防犯灯のLED導入基数	危機管理課
2 糸島市内の二酸化炭素排出量	環境政策課
3 公共施設等の二酸化炭素排出量	公共施設管理課
4 バス利用者数	コミュニティ推進課

## ■目標2:豊かな自然を守り育てる(糸島市生物多様性地域戦略)

### 2-1 多様な自然環境の保全

計画指標	所管課
1 荒廃森林整備面積	水産林務課
2 広葉樹の森の整備面積	水産林務課
3 河川の平均BOD値	環境政策課
4 中山間地域等直接支払事業取り組み集落数	農業振興課

### 2-2 豊かな自然の再生

計画指標	所管課
1 汚水処理人口普及率	下水道課
2 森林の間伐面積	水産林務課
3 松林保全アダプト制度の登録団体数	水産林務課

### 2-3 生物多様性の保全

計画指標	所管課
1 環境情報サイト等に生物多様性に関する情報掲載数	環境政策課
2 市単独自然観察会開催の有無	環境政策課

## ■目標3:快適で住みやすい生活環境をつくる

### 3-1 地域美化の推進

計画指標	所管課
1 環境美化活動への参加者数	環境政策課
2 市の環境パトロールごみ回収量	環境政策課
3 不法投棄防止監視ネットワーク協力団体数	環境政策課
4 動物愛護に関する啓発記事の掲載	環境政策課
5 あき地管理に関する指導件数	環境政策課

### 3-2 生活環境の保全

計画指標	所管課
1 野焼きの苦情件数	環境政策課

### 3-3 循環型社会の形成

計画指標	所管課
1 クリーンセンターへのごみ搬入量	環境政策課
2 市民の1人1日当たりのごみの排出量	環境政策課
3 ごみの資源化率	環境政策課

## ■目標4:協働で環境づくりに取り組む

### 4-1 協働の仕組みづくり

計画指標	所管課
1 出前講座等の学習会参加者数	環境政策課

### 4-2 環境情報の共有

計画指標	所管課
1 環境情報サイトの新着情報数	環境政策課

### 4-3 人材の育成と活用

計画指標	所管課
1 環境ボランティアネットワーク加入団体数	環境政策課



第2次系島市環境基本計画の進捗状況調査票

目標1:地球環境にやさしい生活を実践する  
(第2次系島市地球温暖化対策実行計画 区域施策編・事務事業編)

■施策の方針 1-1 再生可能エネルギーの普及推進

●評価の標語について  
 A…達成率80%以上 B…達成率60%以上80%未満  
 C…達成率40%以上60%未満 D…達成率20%以上40%未満  
 E…達成率20%未満 F…未着手(評価不可)  
 ※達成の尺度が「有無」の場合、有は達成率100%、無は達成率0%とする。

No	計画指標	基準値 (R元年度)	目標値 (R7年度)	目標値の 考え方	現 状	R5年度取組内容	R5年度 実績	最終目標値(R7年度)に 対する時点達成率	時点 評価	今後の取り組み、方針等	所管課
1	住宅用太陽光発電買取件数	4,020件	4,900件 (880件増)	基準値より 20%増	<ul style="list-style-type: none"> <li>●R2~4年度の3か年の事業として、家庭用太陽光発電設備及び家庭用燃料電池の設置に対し、創エネルギーのまち・いとしま推進補助金を交付した。</li> <li>●R4~9年度までの事業として、環境省交付金を活用し、脱炭素推進重点対策加速化事業を開始。家庭用太陽光発電及び蓄電池の設置補助を開始した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●R5年度は創エネルギーのまち・いとしま推進補助金の対象を太陽光発電設置済住宅に対する家庭用蓄電池単体補助に変更。50件の補助金を交付した。</li> <li>●脱炭素推進重点対策加速化事業による住宅用太陽光・蓄電池補助を継続実施し、R5年度は63件(太陽光63、蓄電池57)補助金を交付した。</li> <li>●これらの取り組みを含めて、市内で太陽光買取件数が256件増加した。</li> </ul>	4,927件 (907件増)	100.0%	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>●環境省交付金を活用した脱炭素推進重点対策加速化事業をR9年度まで継続して実施する。1件でも多くの申請につながるよう周知活動を創意工夫する。</li> <li>●創エネルギーのまち・いとしま推進事業は、間接的に太陽光発電の普及と再生可能エネルギーの利用向上につながるよう、R5年度から開始した家庭用蓄電池単体補助に加え、EVやエコキュートの導入補助をR6年度から開始する。</li> </ul>	環境政策課
2	公共施設へのクリーンエネルギー及び省エネ設備導入施設数	36施設	46施設 (10施設増)	基準値より 10件増	<ul style="list-style-type: none"> <li>●公共施設への太陽光発電設備や高効率照明設備(LED照明)の導入を順次実施している。</li> <li>●建築年が古く太陽光発電の設置が困難な公共施設や、H30年度に太陽光設置可能性調査を行っていない施設について、検討が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新設した糸島市運動公園及び糸島市役所新庁舎、消防署前原出張所に太陽光発電を設置した。</li> <li>●芥屋野球場、一貴山CC、糸島市役所新庁舎にLED照明を設置した。</li> </ul>	46施設 (10施設増)	100.0%	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>●経産省補助金や環境省交付金、脱炭素化推進事業債を活用し、太陽光発電やLED照明等の導入を継続的に実施する。</li> <li>●H30年度の太陽光設置可能性調査を行っていない施設について、あらためて調査の実施を検討する。</li> <li>●R6年度は、福吉CC、伊都郷土美術館にLED照明を設置する。</li> </ul>	公共施設管理課 環境政策課

未着手は「未」を入力

第2次系島市環境基本計画の進捗状況調査票

目標1:地球環境にやさしい生活を実践する  
(第2次系島市地球温暖化対策実行計画 区域施策編・事務事業編)

■施策の方針 1-2 低炭素型都市基盤の整備及び保全

●評価の標語について  
 A…達成率80%以上 B…達成率60%以上80%未満  
 C…達成率40%以上60%未満 D…達成率20%以上40%未満  
 E…達成率20%未満 F…未着手(評価不可)  
 ※達成の尺度が「有無」の場合、有は達成率100%、無は達成率0%とする。

No	計画指標	基準値 (R元年度)	目標値 (R7年度)	目標値の 考え方	現 状	R5年度取組内容	R5年度 実績	最終目標値(R7年度)に 対する時点達成率	時点 評価	今後の取り組み、方針等	所管課
1	新規防犯灯のLED導入 基数	110基	550基 (440基増)	毎年110基増	●新規設置・寄附により防犯灯を設置している。	●57基の新規防犯灯を設置した。 ●30基の防犯灯の寄附採納を受け付けた。	379基 (269基増)	61.1%	B	●地域の安全安心の向上、犯罪抑止とともに、二酸化炭素排出削減を目的として、今後も新規防犯灯はLEDを導入していく。	危機管理課
2	系島市内の二酸化炭素 排出量	(H29年度) 546千トン	504千トン (42千トン減)	毎年1.5%減	●地球温暖化対策に関する広報やホームページへの記事掲載、イベントでの啓発活動を行っている。 ●太陽光発電導入を促進し、二酸化炭素排出削減を進めるため、国の交付金や市の再生可能エネルギー推進基金を活用した補助事業を実施している。 【R7年度目標値について】 R6年3月に系島市地球温暖化対策計画区域施策編を改定し、R7年度の目標を296千トンとしていますが、R5年度当初の目標のまま評価しています。 R6年度の進捗状況評価から、改定後の296千トンの目標に対する評価とします。	●市民まつり会場で啓発イベントを実施。広報での節電等の啓発を実施した。 ●包括連携協定を締結している九州電力と連携し、次世代への環境教育を強化する目的で、系島市出前講座に九電連携メニューを追加した。 ●太陽光発電等の補助事業を実施(63件)。公共施設3か所に太陽光発電を設置した。 ●前年度から二酸化炭素排出量が7%減少した。R3年度は新型コロナウイルス感染拡大により社会・経済活動の縮小期だったことが影響したと考えられる。 ※環境省「自治体排出量カルテ」の最新データがR3年度であるため、その数値により評価しました。	(R3年度) 428千トン (118千トン減)	100.0%	A	●今後、市民・事業者に脱炭素の必要性を訴求するため、啓発活動を強化する。どのような行動が脱炭素につながるか、その行動による成果を数値化することで視覚化し、わかりやすく伝える工夫を行う。 ●R5年度に系島市HPに開設した「脱炭素ポータルサイト」を活用し、脱炭素の意義だけでなく、国・県・市の補助事業や啓発事業の紹介を定期的に行い、情報発信の頻度を高める。 ●同時に再エネ・省エネ設備の普及促進を図るほか、R6年度から電動車の導入補助を開始する。	環境政策課
3	公共施設等の二酸化炭素 排出量	14,647トン	13,900トン (747トン減)	基準値より 5%減	●二酸化炭素排出量は、基準値と比較して約1%減少、前年度と比較して約5%減少した。	●庁舎管理の計画に基づき、全公共施設の冷暖房の温度管理を徹底し、経費の削減と二酸化炭素排出量の削減に努めた。	13,820トン (827トン減)	100.0%	A	●市公共施設への再エネ・省エネ設備の導入のほか、温度管理などの徹底を継続し、二酸化炭素排出量の抑制を図る。	公共施設管理課 環境政策課
4	バス利用者数	435,721人	470,000人 (34,279人増)	基準値より 8%増	●新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、当初目標設定時よりも大幅に利用者が減少しているものの、R4年度は、R元年度の89%程度まで回復してきた。	●R5年10月より、雷山線(定時定路線バス)をオンデマンドバスの運行エリア拡大により、効率的な運行と利便性向上を実施している。	438,880人 (3,159人増)	9.2%	E	●オンデマンドバスの運行エリアの拡大や路線の見直し等により、利用者の回復を図る。	コミュニティ 推進課

未着手は「未」を入力

第2次糸島市環境基本計画の進捗状況調査票

目標2:豊かな自然を守り育てる  
(糸島市生物多様性地域戦略)

■施策の方針 2-1 多様な自然環境の保全

●評価の標語について  
 A…達成率80%以上 B…達成率60%以上80%未満  
 C…達成率40%以上60%未満 D…達成率20%以上40%未満  
 E…達成率20%未満 F…未着手(評価不可)  
 ※達成の尺度が「有無」の場合、有は達成率100%、無は達成率0%とする。

No	計画指標	基準値 (R元年度)	目標値 (R7年度)	目標値の 考え方	現 状	R5年度取組内容	R5年度 実績	最終目標値(R7年度)に 対する時点達成率	時点 評価	今後の取り組み、方針等	所管課
1	荒廃森林整備面積	1,792ha	2,192ha (400ha増)	毎年80ha増	●木材価格の長期低迷により林業経営の採算性が悪化し、森林所有者の林業に対する関心は低下しており、林業の担い手の減少や高齢化により、間伐等の森林整備が遅れている。福岡県の森林環境税を活用しながら、順次、荒廃した森林の整備を実施し、健全な森林づくりを進めている。	●福岡県の森林環境税を活用した間伐等、26.57haの森林整備を実施した。	1,969ha (177ha増)	44.3%	C	●森林環境税を活用しながら、水源涵養機能や土砂災害防止等の森林の持つ多面的機能を発揮させるため、荒廃森林の整備を進めていく。  ●現在、糸島型森林再生プロジェクトを立ち上げ、森林施業のサイクルの復活のために、森林保全の担い手育成、糸島産材の活用促進について取り組んでいる。  ●間伐材等の貯木場「伊都山燦」の活用により、間伐材の利用を促進する。	水産林務課
2	広葉樹の森の整備面積	62,380㎡	66,380㎡ (4,000㎡増)	毎年800㎡増	●竹が隣接した森林に侵入・拡大し、荒廃している森林や樹木が枯死している森林等、森林としての公益的機能が低下しており、放置すれば公益的機能が損なわれるおそれがある箇所において広葉樹を植栽し、森林の再生を進めている。	●真名子木の香ランド周辺において植樹祭を開催・実施した。(700㎡)	73,580㎡ (11,200㎡増)	100.0%	A	●水源涵養機能や土砂災害防止等の森林の持つ公益的機能の向上のため、毎年植樹祭や瑞梅寺ダム上流部の竹転等を行い広葉樹の森の整備を進める。	水産林務課
3	河川の平均BOD値	0.94mg/ℓ	2.0mg/ℓ以下	2.0mg/ℓ以下維持	●公共下水道や農業集落排水の整備、合併処理浄化槽の普及により、変動はあるものの徐々に水質は改善している。	●河川調査地点54箇所、環境基準の生活環境項目であるBOD値の検査を実施した。	1.55mg/ℓ	100.0%	A	●快適な生活環境を確保するため、今後も継続して監視を行う。  ●顕著な水質悪化が継続して見られる場合は、原因調査や対応について管理者と対応を検討する。	環境政策課
4	中山間地域等直接支払事業取り組み集落数	18集落	19集落	19集落維持	●19集落・487人により、市内約225haの農地(田畑)の保全がなされている。	●集落共同活動により、水路や農地周辺の草刈り、景観作物の作付、有害鳥獣対策、農道改修、水路改修、法面の点検・補修等を実施した。	19集落	100.0%	A	●今後も、中山間地域における農地の適正維持活動により、耕作放棄地の発生予防、多面的機能の維持などを継続して行う。	農業振興課

未着手は「未」を入力

第2次糸島市環境基本計画の進捗状況調査票

目標2:豊かな自然を守り育てる  
(糸島市生物多様性地域戦略)

■施策の方針 2-2 豊かな自然の再生

●評価の標語について  
 A…達成率80%以上 B…達成率60%以上80%未満  
 C…達成率40%以上60%未満 D…達成率20%以上40%未満  
 E…達成率20%未満 F…未着手(評価不可)  
 ※達成の尺度が「有無」の場合、有は達成率100%、無は達成率0%とする。

No	計画指標	基準値 (R元年度)	目標値 (R7年度)	目標値の 考え方	現 状	R5年度取組内容	R5年度 実績	最終目標値(R7年度)に 対する時点達成率	時点 評価	今後の取り組み、方針等	所管課
1	汚水処理人口普及率	90.4%	91.7% (1.3%増)	R3実績値から 毎年0.1%増 ⇒R5年度 R3実績値から 毎1.3%増 に修正	●公共下水道事業による污水管整備、合併処理浄化槽設置整備事業による合併処理浄化槽の設置に対する補助を実施し、汚水処理人口普及率の向上を図っている。	●公共下水道事業による污水管整備及び合併処理浄化槽設置整備事業による合併処理浄化槽の設置により、汚水処理人口普及率の向上を図った。	91.7% (1.3%増)	100.0%	A	●今後も都市基盤の充実、快適な農山村生活の充実、河川やため池等の水環境保全のため、計画的に事業を推進していく。	下水道課
2	森林の間伐面積	990ha	1,840ha (850ha増)	毎年170ha増	●糸島型森林再生プロジェクトにより、市の林業振興補助金等で補助しながら、間伐などの森林整備を行っている。  ●糸島型森林再生プロジェクト事業として、間伐材等搬出補助金制度を利用し、間伐材等の未利用材の利用促進を図っている。  ●森林組合に対して、間伐材の収集運搬用機械(グラップル・フォワード)の購入補助を行い、作業効率の軽減や危険防止などを行っている。  ●森林環境譲与税基金運営事業により、市有林の間伐等の森林整備を行っている。	●森林環境譲与税基金運営事業により、間伐2.0haの森林整備を進めた。	1,036ha (46ha増)	5.4%	E	●間伐作業は、国・県の補助事業を活用し、水源涵養機能の保全、土砂災害防止等の多面的機能向上のために取り組みを進めていく。  ●間伐材等搬出補助金制度や貯木場「伊都山燦」を活用しながら、自ら保有する山を自ら管理する「自伐林家」の育成にも努めていく。  ●森林環境譲与税を活用し、市有林等の民有林において、間伐等による森林整備を進めていく。	水産林務課
3	松林保全アダプト制度の登録団体数	14団体	20団体 (6団体増)	毎年1団体増	●松枯れの被害がH22年から増加し、H24年には甚大な被害となり、松林の保全のため、薬剤の散布や駆除を継続して実施している。  ●松林保全のためアダプト制度による松林の清掃・美化活動を推進し、白砂青松の再生に取り組んでいる。	●アダプト登録団体により、福井ノ浜、幣ノ浜及び野北浜で、78,780㎡の松林の清掃・美化活動を実施された。	15団体 (1団体増)	16.7%	E	●地域の活動団体、学校及び大手企業などにアプローチし、登録団体数を増加させ松林の保全区域に取り組むことにより、松林の持つ公益的機能の回復に努める。	水産林務課

未着手は「未」を入力

第2次糸島市環境基本計画の進捗状況調査票

目標2:豊かな自然を守り育てる  
(糸島市生物多様性地域戦略)

■施策の方針 2-3 生物多様性の保全

●評価の標語について  
 A…達成率80%以上 B…達成率60%以上80%未満  
 C…達成率40%以上60%未満 D…達成率20%以上40%未満  
 E…達成率20%未満 F…未着手(評価不可)  
 ※達成の尺度が「有無」の場合、有は達成率100%、無は達成率0%とする。

No	計画指標	基準値 (R元年度)	目標値 (R7年度)	目標値の 考え方	現 状	R5年度取組内容	R5年度 実績	最終目標値(R7年度)に 対する時点達成率	時点 評価	今後の取り組み、方針等	所管課
1	環境情報サイト等に 生物多様性に関する 情報掲載数	年間0件	年間3件 (3件増)	基準値より 3件増	●特定外来生物等の分布拡大や地球温暖化等の影響により、市内の自然環境の悪化等が懸念される。 ●生物多様性に関する啓発活動を行い、環境への意識改革を促す必要がある。	●広報に記事を4回掲載した。 ●市ホームページへ生物多様性に関する内容を1件追加、3件更新。	年間8件 (8件増)	100.0%	A	●今後も生物多様性に関する内容について、広報での定期記事掲載及びホームページによる情報発信を行っていく。	環境政策課
2	市単独自然観察会開 催の有無	開催無し	開催有り	開催の有無	●特定外来生物等の分布拡大や地球温暖化等の影響により、市内の自然環境の悪化等が懸念される。 ●生物多様性に関する啓発活動を行い、環境への意識改革を促す必要がある。 ●自然環境に対する市民の興味・関心を引き出していくことが求められる。	●市単独の自然観察会「秋の散策と秋の小物作り」(瑞梅寺山の家にて)を開催した。	1回	100.0%	A	●市民の自然環境に対する興味・関心を引き出すため、自然観察会を開催する。	環境政策課

未着手は「未」を入力

第2次系島市環境基本計画の進捗状況調査票

目標3: 快適で住みやすい生活環境をつくる

■施策の方針 3-1 環境美化の推進

●評価の標語について  
 A…達成率80%以上 B…達成率60%以上80%未満  
 C…達成率40%以上60%未満 D…達成率20%以上40%未満  
 E…達成率20%未満 F…未着手（評価不可）  
 ※達成の尺度が「有無」の場合、有は達成率100%、無は達成率0%とする。

No	計画指標	基準値 (R元年度)	目標値 (R7年度)	目標値の 考え方	現 状	R5年度取組内容	R5年度 実績	最終目標値(R7年度)に 対する時点達成率	時点 評価	今後の取り組み、方針等	所管課
1	環境美化活動への参加者数	46,853人	48,000人 (1,147人増)	基準値より 2.5%増	●市民の生活環境の向上を図るため、地域の環境美化活動を推進している。 ●行政区を通じて市民へ周知し、各行政区や隣組単位で地域の清掃活動が実施されている。 ●行政区だけでなく、個人や団体による市内の清掃活動が年間を通して行われている。	●新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着いたことにより、前年度より増加した。 ●参加者数 春季：27,316人、秋季：27,276人 (対前年度比25,550人の増加)	54,592人 (7,739人増)	100.0%	A	●環境美化活動は、身近な生活環境が保全されることや地域のコミュニティの向上にもつながる等、様々な効果があるため、今後も継続する必要がある。 ●参加者不足や高齢化により作業範囲が限られる地域もあるため、できる範囲の作業で協力いただきたい。 ●対応できない水路等は、市へ相談していただき、担当課の判断のもと対応していくこととする。	環境政策課
2	市の環境パトロールごみ回収量	125トン	120トン (5トン減)	毎年1トン減	●不法投棄の通報による回収だけでなく、地域や団体、個人等の環境美化活動により、ポイ捨てゴミや地域の草刈りや出た草等の回収、海岸漂着物の回収を実施している。	●(公社)系島市シルバー人材センターと(社福)香月福祉会MUKAに不法投棄防止監視パトロール業務を委託。海岸漂着物や不法投棄物、環境美化活動でのゴミ等を回収した。 ●不法投棄が頻発する地域等の管理者に対し、啓発看板の配布・設置を実施した。 ●主な不法投棄物の回収件数 テレビ：17台 冷蔵庫：13台 自転車：14台 タイヤ：87本	108トン (17トン減)	100.0%	A	●不法投棄が後を絶たず、年々増加傾向にある。年間を通じた環境パトロールと合わせ、市民や事業者、地域、不法投棄監視ネットワーク等との協働により不法投棄監視を継続する。 ●今後も広報やホームページを活用しながら、不法投棄防止の啓発を行っていく。	環境政策課
3	不法投棄防止監視ネットワーク協力団体数	24団体	30団体 (6団体増)	基準値より 6団体増	●広報やホームページを活用し、協力団体を募集している。 ●地域の実情に詳しい行政区長にも、不法投棄を発見した際に通報をお願いしている。 ●依然として不法投棄が多い状況である。	●広報やホームページで協力事業者を募集した。 ●協力団体事業所に、登録事項の変更の有無・協定内容の確認等を行い、ネットワークの強化を図った。 ●不法投棄監視のネットワーク拡充のため、ボランティア団体や行政区の希望者に不法投棄監視ステッカーを配布した。	24団体 (0団体増)	0.0%	E	●今後も協力団体を拡大させるため、広報やホームページでの周知、商工会や各種団体への訪問等で募集活動を行っていく。	環境政策課
4	動物愛護に関する啓発記事の掲載	年間2回	年間3回 (1回増)	基準値より 1回増	●愛護動物(犬・猫等)に対する苦情・相談が年間を通して後を絶たず、特に近年は猫に対する苦情・相談が増加している。 ●飼い主の適正な飼養の啓発が必要である。	●適正飼養啓発記事を広報掲載(4回)。 ●飼い主のマナーアップため、動物愛護推進協議会で啓発グッズを作成し、動物の適正飼養についての啓発を行った。 ●猫に対する苦情を減らすため、餌やり等のマナー向上チラシをボランティア団体、福岡県系島保健福祉事務所と作成し、全戸回覧を行った。	年間4回 (2回増)	100.0%	A	●今後も福岡県系島保健福祉事務所と連携しながら広報、ホームページで情報発信を行っていく。	環境政策課
5	あき地管理に関する指導件数	278件	220件 (58件減)	基準値より 20%減	●近隣住民からの相談が6月から10月頃を中心に多く寄せられている。 ●市からの指導がなければ雑草の除去を行わない等、土地の管理について受動的な所有者が多く課題である。 ●複数回指導しても対応しない土地所有者もいる。 ●所有者に文書が届かない等、市では対応が不能となった案件もある。	●過去に指導歴のある土地の所有者等に対し、雑草除去依頼文書を5月に一斉送付した。 ●個別の相談に基づき、土地の所有者等に対して雑草除去等を指導する文書を送付した。(あき地条例該当144件、市民相談該当59件。) ●啓発チラシを作成し、指導文書に同封することとした。	203件 (75件減)	100.0%	A	●土地の所有者等に対し、定期的な雑草除去と併せて自主的な土地の適正管理を促していく。 ●相談があった土地については、随時指導等を継続して行う。	環境政策課

未着手は「未」を入力

第2次糸島市環境基本計画の進捗状況調査票

目標3: 快適で住みやすい生活環境をつくる

■施策の方針 3-2 生活環境の保全

●評価の標語について  
 A…達成率80%以上 B…達成率60%以上80%未満  
 C…達成率40%以上60%未満 D…達成率20%以上40%未満  
 E…達成率20%未満 F…未着手（評価不可）  
 ※達成の尺度が「有無」の場合、有は達成率100%、無は達成率0%とする。

No	計画指標	基準値 (R元年度)	目標値 (R7年度)	目標値の 考え方	現 状	R5年度取組内容	R5年度 実績	最終目標値(R7年度)に 対する時点達成率	時点 評価	今後の取り組み、方針等	所管課
1	野焼きの苦情件数	35件	24件 (11件減)	基準値より 30%減	<ul style="list-style-type: none"> <li>●庭木の枝、雑草、家庭菜園で出た植物性の廃棄物等の焼却行為は、後を絶たない状況である。</li> <li>●R4年度は例年より多く苦情が寄せられた。在宅ワーク等が増えたのも一因と考えられる。</li> <li>●住宅地域付近の田畑で、焼却禁止の例外とされる農業関連の廃棄物の焼却行為に関する苦情が多い。</li> <li>●農業を営むための焼却行為は、JA糸島や市の関係部署を通じて、周辺地域に配慮しながら焼却してもらうよう、お願いしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●野焼き禁止に関する記事を広報に掲載し、周知を図った。</li> <li>●個別の苦情に対しては、現地で指導した。</li> <li>●野焼きにより火災が発生した場合は、発生した地域において本課と消防署の連名でチラシを回覧し、再発防止に取り組んだ。</li> <li>●消防本部と協議を行い、今後の連携等について協議した。</li> <li>●悪質なケースや事業者による廃棄物焼却については、糸島警察署と福岡県筑紫保健福祉環境事務所等と連携し対応している。</li> </ul>	うち例外に対する 苦情件数5件  46件 (11件増)	0.0%	E	<ul style="list-style-type: none"> <li>●野焼きに関する市民の理解を深め、広報やホームページ、回覧チラシ等を活用して、引き続き市民に周知を行っていく。</li> </ul>	環境政策課

未着手は「未」を入力

第2次系島市環境基本計画の進捗状況調査票

目標3: 快適で住みやすい生活環境をつくる

■施策の方針 3-3 循環型社会の形成

●評価の標語について  
 A…達成率80%以上 B…達成率60%以上80%未満  
 C…達成率40%以上60%未満 D…達成率20%以上40%未満  
 E…達成率20%未満 F…未着手（評価不可）  
 ※達成の尺度が「有無」の場合、有は達成率100%、無は達成率0%とする。

No	計画指標	基準値 (R元年度)	目標値 (R7年度)	目標値の 考え方	現 状	R5年度取組内容	R5年度 実績	最終目標値(R7年度)に 対する時点達成率	時点 評価	今後の取り組み、方針等	所管課
1	クリーンセンターへ のごみ搬入量	33,216トン	33,568トン (352トン減)	1人1日1%減× 人口見込数	●家庭系ごみの搬入量はR4年度の26,044トンからR5年度の25,298トンと746トン減少した。 ●事業系ごみの搬入量はR4年度の4,915トンからR5年度の4,882トンと33トン減少した。 ●産業廃棄物等の搬入量はR4年度の1,416トンからR5年度の1,443トンと27トン増加した。	●新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着いたこともあり、校区文化祭や市民祭り等でごみ減量の啓発を行うことができた。 ●市外で発生したごみの搬入を防ぐため、搬入時にごみ発生場所及び本人確認を実施している。	31,623トン (1,593トン減)	100.0%	A	●各種イベントを実施することで、ごみ減量の啓発を行っていく。 ●ごみ減量化について、広報やホームページで周知や啓発を行っていく。	環境政策課
2	市民の1人1日当 たりのごみの排出量	937.0g	928.0g (9g減)	基準値より 1%減	●「有価資源回収活動奨励補助金」「資源集積倉庫等設置補助金」による紙の資源化及び「ごみ減量化器材購入補助金」による生ごみの減量を推進している。	●有価資源回収活動奨励補助金 838,614kg 3,354,456円	865.0g (72g減)	100.0%	A	●紙類、特に「雑紙」の資源化について推進する。	環境政策課
3	ごみの資源化率	25.1%	26.0% (0.9%増)	基準値より 1%増	●リサイクルセンターにおける不燃ごみの資源化、市民による有価資源回収活動及び牛乳パック・食品トレイ回収等の資源化に取り組んでいる。	●クリーンセンター資源化量 6,577トン ●資源（集団）回収量 887トン	23.6% (1.5%減)	0.0%	E	●今後も、ごみ分別の徹底と資源回収拠点を窓口やホームページ等で市民に知らせていく。 ●携帯電話、インクカートリッジ、小型充電式電池など再資源化できるものについて回収ボックスを設置している。資源化に向けて市民に啓発を行っていく。	環境政策課

未着手は「未」を入力



第2次系島市環境基本計画の進捗状況調査票

目標4:協働で環境づくりに取り組む

■施策の方針 4-1 協働の仕組みづくり

●評価の標語について  
 A…達成率80%以上 B…達成率60%以上80%未満  
 C…達成率40%以上60%未満 D…達成率20%以上40%未満  
 E…達成率20%未満 F…未着手（評価不可）  
 ※達成の尺度が「有無」の場合、有は達成率100%、無は達成率0%とする。

No	計画指標	基準値 (R元年度)	目標値 (R7年度)	目標値の 考え方	現 状	R5年度取組内容	R5年度 実績	最終目標値(R7年度)に 対する時点達成率	時点 評価	今後の取り組み、方針等	所管課
1	出前講座等の学習会 参加者数	2,404人	2,654人 (250人増)	毎年2%増	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ごみ減量やリサイクルの推進等について、市民の知識や理解を深めることができる。</li> <li>●出前講座や市民まつり、校区文化祭、クリーンセンターの見学等により、ごみ減量やリサイクルの推進に関する啓発を図っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新型コロナウイルスの感染状況をみながら、出前講座やイベントによりごみの減量に対する啓発を実施した。また、ごみの減量化や資源化の啓発を目的とした、クリーンセンターの施設見学の受け入れを実施した。</li> </ul>	1,802人 (602人減)	0.0%	E	<ul style="list-style-type: none"> <li>●今後も積極的にイベントや施設見学の受け入れを行っていく。</li> </ul>	環境政策課

未着手は「未」を入力

第2次系島市環境基本計画の進捗状況調査票

目標4:協働で環境づくりに取り組む

■施策の方針 4-2 環境情報の共有

●評価の標語について  
 A…達成率80%以上 B…達成率60%以上80%未満  
 C…達成率40%以上60%未満 D…達成率20%以上40%未満  
 E…達成率20%未満 F…未着手（評価不可）  
 ※達成の尺度が「有無」の場合、有は達成率100%、無は達成率0%とする。

No	計画指標	基準値 (R元年度)	目標値 (R7年度)	目標値の 考え方	現 状	R5年度取組内容	R5年度 実績	最終目標値(R7年度)に 対する時点達成率	時点 評価	今後の取り組み、方針等	所管課
1	環境情報サイトの新 着情報数	12件	15件 (3件増)	基準値より 3件増	●市民の環境に対する意識を向上させる きっかけとするため、環境に関する情報 をホームページに掲載している。	●環境に関する市の取り組み状況や啓 発、イベント等の情報を掲載した。	31件 (19件増)	100.0%	A	●目標値を達成したが、今後も市の取り 組みやイベント等の情報を、より多く掲 載できるよう継続して取り組んでいく。	環境政策課

未着手は「未」を入力

第2次系島市環境基本計画の進捗状況調査票

目標4:協働で環境づくりに取り組む

■施策の方針 4-3 人材の育成と活用

●評価の標語について  
 A…達成率80%以上 B…達成率60%以上80%未満  
 C…達成率40%以上60%未満 D…達成率20%以上40%未満  
 E…達成率20%未満 F…未着手（評価不可）  
 ※達成の尺度が「有無」の場合、有は達成率100%、無は達成率0%とする。

No	計画指標	基準値 (R元年度)	目標値 (R7年度)	目標値の 考え方	現 状	R5年度取組内容	R5年度 実績	最終目標値(R7年度)に 対する時点達成率	時点 評価	今後の取り組み、方針等	所管課
1	環境ボランティア ネットワーク加入団 体数	17団体	22団体 (5団体増)	基準値より 5団体増	<ul style="list-style-type: none"> <li>●環境ボランティアネットワークの加入団体を拡大するため、広報等で周知している。</li> <li>●環境ボランティア活動に関する情報交換会を年1回程度実施している。</li> <li>●登録団体を支援する事業として、活動物資の支給を実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●登録団体数は18団体を維持。</li> <li>●4年ぶりに一同に会し、情報交換会を実施した。</li> <li>●登録団体のうち5団体に対し、物品等を支給した。</li> <li>●加入団体拡大のため、広報・ホームページで募集を行った。</li> <li>●高齢化や代表者の転出により活動ができなくなり、2団体が脱退。新規増は1団体であったため、登録団体は18団体となった。</li> </ul>	18団体 (1団体増)	20.0%	D	<ul style="list-style-type: none"> <li>●今後も、市民と行政による協働を継続する必要がある。広報等により登録団体数のより一層の増加をめざす。</li> <li>●ネットワーク会議で情報共有を行い、団体間の連携強化を図る。</li> </ul>	環境政策課

未着手は「未」を入力

第2次糸島市環境基本計画進捗状況調査票への意見・質問

資料3

No	計画指標	委員名	意見・質問	所管課	回答
全体		朝田委員	最終目標値（R7年度）に対する時点達成率の数値の見方がわかりません。	環境政策課	<p>前回の審議会で時点達成率の考え方について整理させていただきました。</p> <p>今回、新任の委員もいらっしゃいますので、改めてご説明いたします。</p>
1-2-2	糸島市内の二酸化炭素排出量	久場会長	令和6年、7年の2年間で、296千トンまで約100千トン近く減らすためには、どのような取組が必要でしょうか？ 行動による成果を数値化・可視化する件はどの程度進んでいますか？	環境政策課	<p>●目標と現状について整理します。</p> <p>・今回の評価は、R5当初時点の計画値に基づきます。</p> <p>・今年3月の審議会で区域施策編の改定案についてご審議いただきましたが、目標は以下のとおり改定しました。</p> <p>★2030(R12)目標 42万4千 t-CO2 ⇒ 29万6千 t-CO2</p> <p>★2025(R7)目標 50万4千 t-CO2 ⇒ 36万7千 t-CO2</p> <p>※今回のご質問は、改定後の目標を念頭に回答します。</p> <p>●最新2021(R3)の排出値は42万8千 t-CO2です(CO2排出量データにはタイムラグがあります)。</p> <p>●2030(R12)に向けて9年で13万2千 t-CO2、2025(R7)に向けては4年で6万1千 t-CO2の削減を必要とします。</p> <p>●削減の取組として、改定後の区域施策編では4施策を掲げています。再エネ・省エネ設備導入を促進だけでなく、市民・事業者(市役所含め)が日頃からCO2排出を減らす行動にシフトする必要があります。さまざまな取組で期待できるCO2削減効果を見える化し、わかりやすく伝えていく取組が必要です。</p> <p>●事業所における見える化について、各事業所にエネルギー使用状況を把握してもらい、省エネ、省CO2の課題がどこにあるか見える化する仕組みを提供するため、専門の事業者と相談しているところです。</p> <p>●各家庭における見える化については、電力使用量が大幅に増える夏季や冬季における省エネの呼びかけを市広報やHP等の媒体、出前講座の資料等で紹介する際に、CO2削減量についても紹介しています。ただし、情報発信が小出しになっているほか、発信している情報が一般論の削減量で個人の行動に伴うものでないため、印象に残りにくい点が課題と認識しています。</p>

No	計画指標	委員名	意見・質問	所管課	回答
1-2-4	バス利用者数	久場会長	令和5年10月より10か月ほど経過していますが、雷山線のオンデマンドバス運行エリア拡大の効果（効果的な運行と利便性向上）は見られていますか？ コロナ後の利用者数回復がまだまだのように思われますが、オンデマンドバス運行エリアの拡大や路線の見直しだけで令和7年度目標値の達成は可能でしょうか？	コミュニティ推進課	オンデマンドバス運行エリア拡大の効果だが、雷山線全線の日中をデマンド化することにより、バス利用の少なかったエリア（既存のバス路線から離れた雷山校区等）から利用がされるようになった。 利用者からはバス停も増え、住宅地内等にバス停があることで距離が近くなったこと、バス停を降りたらずぐ目の前に市街地の主要施設（スーパー等）があるという状況により便利になったという声をいただいている。 また、令和7年度目標値であるバス利用者数においては、今後のコロナウイルス感染拡大の影響等で見込みが難しいところもあるが、令和5年度バス利用者数で438,880人、前年度389,081人で前年度比49,799人の増となっている。オンデマンドバス運行エリアの拡大や路線の見直しに加えて、令和6年4月より系統番号表示の実施を行い、より利用しやすいように改善し、利用促進にも取り組んでいる。これからも現状の利用者数の増加を維持できれば、目標値（470,000人）の達成は可能と見込まれる。
2-1-3	河川の平均BOD	久場会長	・顕著な水質悪化が継続して見られた箇所はありましたか、原因は何でしたか？ ・河川のBODの環境基準値はAA類型で1 mg/l以下、A類型で2 mg/l以下、B類型で3 mg/l以下…です。河川調査地点54箇所のうち、目標値2 mg/lを超えた地点は何箇所程度でしょうか？ ・河川調査1地点あたり、年数回の測定を行い、平均した値でしょうか？ それとも年1回の測定でしょうか？	環境政策課	・過年度から継続して水質基準を著しく超過する箇所はありました。採水場所の地理的状況より、主に畜産業による影響を受けていることが推測されます。 ・河川調査地点で目標値2 mg/lを超えた地点は、10箇所でした。その内、環境基準の類型指定されている地点での超過箇所は、ありませんでした。 ・年1回の検査です。
2-2-1	汚水処理人口普及率	久場会長	・下水道普及率はどの程度でしょうか？ ・公共下水道のうち、合流式を採用している場所はありますか？ 雨天時に未処理汚水のCSO（合流式下水道越流水）の問題が生じている場所はありますか？ それとも、全て分流式でしょうか？ ・単独処理浄化槽はどの程度在り、合併処理浄化槽等への更新の状況は如何でしょうか？	下水道課	Q1 下水道普及率はどの程度でしょうか？ A1 令和5年度末の公共下水道の普及率は69.2%です。  Q2 公共下水道のうち、合流式を採用している場所はありますか？ 雨天時に未処理汚水のCSO（合流式下水道越流水）の問題が生じている場所はありますか？ それとも、全て分流式でしょうか？ A2 全て分流式下水道です。お尋ねの『雨天時に未処理汚水の合流式下水道越流水の問題』は生じておりません。  Q3 単独処理浄化槽はどの程度在り、合併処理浄化槽等への更新の状況は如何でしょうか？ A3 単独処理浄化槽は約140基存在します。 令和5年度の合併処理浄化槽への転換は、5基です。 合併処理浄化槽への転換が2基、下水道への接続が3基です。

No	計画指標	委員名	意見・質問	所管課	回答
2-2-2	森林の間伐面積	久場会長	・今後の取り組み・方針等の箇所、「市有林等の民有林において…」とはどういう意味でしょうか？ ・目標をかなり大幅に下回っています。どこに問題があり、何か大きく改善できる方針はありますか？	水産林務課	・森林は国が所有する国有林と、それ以外の民有林に分けられます。民有林には個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。
2-2-3	松林保全アダプト制度の登録団体数	久場会長	道路傍の松の倒木により自動車の死亡事故などが他県では報告されていますが、糸島市ではそのような事故は報告されていますか？ 倒木のリスクの評価などは実施していますか？	水産林務課	・現在のところ、松の倒木による車両等の事故は発生していません。 ・また、倒木のリスクの評価は実施していませんが、松枯れが発生する時期に合わせて市職員の目視による現地調査を実施（9月、12月、3月の3回）し、その後枯れた松の伐倒駆除を実施しています
2-3-2	市単独自然観察会開催の有無	久場会長	令和5年度取り組み内容の箇所、1回実施した具体的な観察会の名称などの記載をされては如何でしょうか。	環境政策課	具体的な内容を記載します。
3-1-2	市の環境パトロールゴミ回収量	久場会長	108トンのうち、(糸島市の努力ではどうしようもない) 海洋漂着物ほどの程度を占めていますか？	環境政策課	海洋漂着物の割合はわかりません。 ゴミの回収量は、クリーンセンターへ搬入する様々なゴミの合算であり、個々の量についての集計は困難です。
3-1-3	不法投棄防止監視ネットワーク協力団体数	久場会長	令和元年度基準値24団体から全く増えていません。現状の24団体は何かご意見をお持ちではないでしょうか？	環境政策課	「ご意見をお持ち」が、 ・24団体 …意見は出されていません。 ・市 …（24団体のまま増えていないことに対し）協力事業者を随時募集しているにも関わらず団体数が増えないことは残念に感じます。不法投棄防止の抑止力強化のため引き続き広報やHPで参加を呼びかけます。
3-2-1	野焼きの苦情件数	久場会長	令和5年度実績46件のうち、あるいは、令和元年度基準値35件のうち、焼却禁止の例外とされる農業関連の廃棄物の焼却行為（← 具体的にはどんな行為？）に関する苦情件数はどの程度ですか？ その件数は達成率の計算に含めるべきでしょうか？ 少なくとも、例外に対する苦情件数を記載されておいては如何でしょうか。	環境政策課	・令和5年度実績46件のうち、5件が例外として認められるものであり、全て農業に関連する焼却でした。（令和元年度は0件） ・たとえ例外として認められた焼却であっても、周囲からの苦情につながらないような配慮が必要であるため、苦情として相談があったものについては、件数にカウントします。 ・今後は例外件数として別途記載いたします。
3-3-1	クリーンセンターへのゴミ搬入量	久場会長	令和4年度と5年度の比較で、搬入量の多い家庭系ゴミの大幅な減量は上手く行っています。事業系ゴミの減量も出ています。一方、搬入量は多くはないものの、産業廃棄物の搬入量は逆に増えています。何か考えられる理由はありますか？	環境政策課	糸島市の人口は増加しており、そのため家の建設等も増加しております。そういった状況が影響していると考えております。
3-3-3	ごみの資源化率	久場会長	令和元年度基準値よりも、令和5年度実績は下がっています。理由は何でしょうか？	環境政策課	集団回収量の減少の影響が大きいと考えております。 集団回収量が落ちている一方でごみ搬入量は減っているため、集団回収から民間の回収ボックスでの資源回収に流れていると考えられます。